

みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



◀「震災直後は避難所に泊まり込んでいて、家には帰れませんでした」と渡邊会長。奥様の登喜子さんは、「私は主人が体を壊さないかと心配でした」と当時を振り返ります

今月の
ひと

あすと長町仮設住宅を見守る

郡山地区連合町内会長

明るく楽しいコミュニティを目指して、共に地域の“仲間”と前進

「震災時は本当に苦労しましたからね。共に乗り越えた人たちはすべて仲間だと思っています。もちろん仮設住宅にお住まいの皆さんも同じですよ」と、郡山在家町内会の渡邊梅夫会長はほほ笑みます。

渡邊さんは郡山地区16の町内会で組織する連合町内会の会長でもあります。

震災時には自宅が被災しましたが、私事はいっさい顧みず避難所で陣頭に立ち、支援活動を続けていました。

その後、あすと長町に仮設住宅が完成してからは、入居した人たちと、イベントなどを通じて交流を図り今も積極的に地域住民とのパイプ役を担っています。

「新たな皆さんと共に明るく楽しいコミュニティを作っていきたい」

と、これからの抱負を語る渡邊会長。

「もっと仮設住宅の外へ出て、地域での生活になじんで欲しいです」とあすと長町仮設住宅にお住まいの皆さんへ力強くメッセージを送ります。

2012

2

第3号

おじゃまします！ 「絆支援員」

PSCの活動としては、あすと長町仮設住宅ではすっかりおなじみとなった「絆支援員」による個別訪問があります。昨年末にあすと長町仮設住宅の絆支援員に加わった後藤さんに、日頃の訪問活動の中で感じていることなどを伺いました。

仮設住宅での暮らしをサポートします

あすと長町仮設住宅には、お住まいの皆さんの生活に関わる人が数多くいます。社会福祉協議会や民生委員の皆さん、ボランティア活動を続ける企業、地元有志が集まり活動する「長町まざらいん」の方々…。その中から今回は、一般社団法人「パーソナルサポートセンター（以下PSC）」による活動を紹介します。



ご存知ですか？ コミュニティ・ワークショップ「えんがわ」

被災者の方々にとって仕事の確保は大きな課題のひとつ。昨年12月、あすと長町地区に仮設住宅の皆さんが気軽に職業体験などをしていただくことを通じて、居場所づくりと就労支援につなげていく施設、『コミュニティ・ワークショップ えんがわ』ができました。

皆さんに寄り添って共に歩み続けたい

初めて仮設住宅で被災者の方たちと接したとき、緊張もありましたが、挨拶程度の会話から何度かお会いするうちに、徐々にいろいろなお話をさせていただけるようになりました。

震災での辛い出来事をお話くださる方もいらっしゃいました。内容はもちろん、話し方もさまざまで、明るく話される方もいれば、涙を流しながら話される方もいらっしゃいました。自分を信頼してお話していただけるので、常に「なんとかお役に立たなくては」という責任を感じながら働いています。

これからも、できるだけ多くの方とお会いすることで、震災で受けた被害から立ち直るためのお手伝いをしたいと思います。

お気軽に遊びにきてください

震災で仕事を失った皆さんが自立するためには、今後「就労」についての対応が、ますます重要になると思います。「えんがわ」を設立以来、すでにいくつかの活動を行ってきましたが、参加者からは「外に出るきっかけになった」「話し相手ができる」「少しでも収入があるのはうれしい」との感想をいただいています。そういった声は素直にうれしいですね。

まだ立ち上がって間もない状態ですので、イベントなどを行っているだけですが、今後もさまざまな支援プログラムを企画していきますので、興味のある人は「えんがわ」まで、ぜひ遊びにきてみてください。

教えて！「えんがわ」Q&A

- Q1：えんがわはどのような目的を持った施設ですか？**
A1：仮設住宅にお住まいの皆さんの生活再建をサポートすることを目的に、コミュニティ形成と就労へのつなぎをお手伝いする施設です。
- Q2：今までにどんな活動をしてきたの？**
A2：被災された方へ生活再建情報などをまとめて送付する仙台市の「復興定期便」の封入作業のほか、料理研究家などを招いての「クッキー&フィギュア製作体験」、マスコット製作を通して収入につなげる「ぬいぐるみ作り体験」などのイベントを行いました。子育て世帯を支援するクリスマスパーティーも開催しています。
- Q3：今後の活動を教えてください**
A3：今後も参加者を募り、さまざまな形での支援プログラムを展開していく予定です。新たなイベントの応募などに関しては、広報紙「えんがわ通信」や、各仮設住宅の掲示板などで告知していきます。
- Q4：一緒に作業してみたいんだけど…**
A4：東日本大震災の被災者であれば、誰でも参加することができます。借り上げ民間賃貸住宅などのみならず仮設に住んでいる方も利用が可能。老若男女も関係ありませんので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

絆支援員の近況レポート

個別訪問やイベントなどの活動を通じ、お住まいの方たちに関わる支援員のスタッフたち。しかし活動を始めた当初は認知度の低さから、なかなかその仕事内容を受け入れてもらえなかったそうです。

最近は、敷地内を歩いていても気軽に挨拶をしてくれる方が増えるなど、お住まいの方々と支援員の距離が近くなってきました。またPSCとしてプレハブ仮設住宅で活動していく中で、さまざまな支援団体や機関とのつながりもできるようになりました。これからも仮設住宅に住む皆さんが安心して生活できるよう、共に歩み続けたいと思っています。

絆支援員
後藤 美枝 さん



PSCと運営委員会が共催した「クリスマス会」は多くの人でにぎわいました

コミュニティ・ワークショップ
えんがわ
岡本 裕野 さん



講師の話聞きながら、みんなで「さげ雛」を作っています

「絆支援員」にふれて

入居した当初は、慣れない土地での生活や、これからの事を憂い、どうしても気分が沈みがちでした。でも絆支援員の方が来てくれたときだけは、なんだかうれしくてね。震災で自分たちの家が流されたことや、仮設住宅での日々の出来事など、自分たちの中に溜まっていたことを吐き出すことができ、とても気持ちが軽くなったと思います。毎日大変だとは思いますが、これからも欠かさず家に来ていただきたいですね。



来ない日はさみしいね

比田勝男さん（あすと長町仮設住宅在住）

仮設住宅に移ってきた直後は、まだパニック状態のまま。しなくてはならない事がたくさんあるはずなのに、何から手を着ければいいのかわかりませんでした。そんなとき毎日のように来ていただいた絆支援員さんの存在は、本当に心強かった。たわいもない会話を長々としているだけで、少しずつだけ日常を取り戻せた気がします。自分たちは決して孤立無援ではない。常に見守ってもらっている安心感を得られます。



いつも長話になってしまいます

佐々木はつよさん（あすと長町仮設住宅在住）

「えんがわ」で活動してみても

イベントへは、知り合いから半ば強制的に参加させられました（笑）。思ったより多くの人たちがいたので、家の中に1人であるよりよっぽど楽しかったです。今回はクッキー作りなどにチャレンジしましたが、男でも意外と簡単に作れちゃうものなんですね。見学だけのつもりだったけれど、いつの間にか夢中になって作業していました。これからもどんどん参加して、皆さんと楽しく働きたいですね。「クッキー&フィギュア製作体験」に参加した門馬福治さん（あすと長町仮設住宅在住）



男性が参加しても大丈夫！

私たちが「収入を得るため仕事をしたい」と考えても、実際には就業場所や条件面での制約が多くて、結果的に「働くことができない」というのが現状だと思います。そんな中で「えんがわ」のイベントは、直接収入を得ることができるので本当にうれしい。それがたとえ内職のような小さな仕事だったとしても、働けること自体が楽しいんです。ここに来れば話し相手もいるし、家の中に閉じこもっているよりずっと良いですよ。「ぬいぐるみ作り体験」に参加した武田しず子さん（あすと長町仮設住宅在住）



みんなと一緒に仕事は楽しい

リポート・長町ぶらり

太白区文化センター「楽楽楽ホール」

長町のシンボル施設
三月四日に再開記念音楽祭

長町五丁目にある太白区文化センター「楽楽楽ホール」が三月五日、通常業務を再開します。震災で大きなダメージを受け、復旧には約一年を要しました。地域のシンボル施設の再出発を祝って、前日四日には記念の音楽祭が開かれる予定で、センターは多くの人の来場を呼び掛けている。

「楽楽楽ミュージックフェスティ



▲楽楽楽ホールが入るビル「たいはつくる」。長町のランドマーク的存在です

バル2012」と銘打った音楽祭は午前十時、創作和太鼓の勇壮な演奏で開幕します。終了の十六時半まで、地元で活動する八の合唱グループと中高大十一校の吹奏楽部が次々と登場し、日々の練習の成果を披露します。特に合唱は、全国的に高い評価を受ける宮城三桜高校、女性合唱団みやぎ（旧・宮城県おかささん合唱団）も出場予定。長町小一、二年生児童のチアグループ「TCバンビーズ」も、元気でかわいらしいダンスを披露します。地元の商店街による物産市も開催される予定です。

最大六百七十四席の楽楽楽ホールは一九九九年四月、再開発ビル「たいはつくる」のメイン施設としてオープンしました。同建物内には、区中央市民センター、区中央児童館、情報センター、太白図書館も入居。音楽祭では、全施設挙げて盛り上げます。

ホール再開でまた一歩市民が日常を取り戻す

ホールの被害は、地震の揺れで三

▶舞台奥から見たホール。客席部分には足場が組み立てられ、物々しい雰囲気の中で工事が進んでいます



◀工事のため外された客席。ソファに積もった埃の跡が、復旧までの長い月日を物語っています



重構造の天井が舞台や客席に崩落するなど深刻なものでした。仙台市は、崩落の原因を徹底調査。天井の工法を耐震構造に見直したため、復旧に時間を要しました。それでも予約を再開した昨年十月末には、再開を待ちわびた利用者百人以上が列を作りました。すでに再開後の予約率は六十五%に上る（一月上旬現在）など、ホールが市民にいかにか親しまれているかが分かります。

一月初め、復旧工事が進むホール内部を見学させてもらいました。客席はすべて外され、足場がジャンク

リズムのように組み立てられました。内部には工事に伴う粉塵が舞い、震災前とほとんど変わらない外観からは想像もつかない痛々しさで、爪痕の深さをあらためて感じさせられました。

歌、演奏、舞踊……。ホールは文化活動に取り組み人たちにとっては成果発表の晴れ舞台です。震災で文化活動は一時、自粛という風潮になったわけですが、ホールの再開は市民生活がまた一歩、日常を取り戻した証でもあります。復旧に向け舞台裏で奔走する関係者に敬意を表しながら、より多くの人に音楽祭を楽しんでいただき、復興に向かう決意を新たにしてほしいと思いました。

「楽楽楽ミュージックフェスティバル2012」
 3月4日(日) 10:00~16:30
 太白区文化センター「楽楽楽ホール」
 入場無料
 022-304-2211 太白区文化センター

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

津波で流出した写真などをお渡しします

東日本大震災の津波被害地域(宮城野区・若林区)でのがれき処理作業中に回収された写真、アルバム、賞状など思い出の品を展示し、所有者やご家族へお渡しします。

2月29日(水)~3月25日(日) 10:00~16:00
 (休館日=毎週月曜日、3月21日(水))

中央市民センター体育館

(宮城野区榴岡4-1-8パルシティ仙台6階)

※貴重品の引渡しには身分証明書の写しをいただく場合がありますので、免許証などお名前が確認できるものをご持参ください。また、専用の駐車場がありませんので、公共交通機関でのご来場にご協力をお願いします。

022-291-2111 宮城野区民生生活課(内線6146~7)

022-282-1111 若林区まちづくり推進課(内線6136)

022-234-1111 消防局防災安全課(内線2330)



巡回相談

生活上の困りごとなど、さまざまな相談に応える地域支えあいセンターの巡回相談は、以下の日程で行われます。どの会場でも利用できます。予約不要。(他の区での実施予定は、下記までお問い合わせください)

対象 主に借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方

巡回相談(2月10日~3月10日 9:30~16:00)

太白区中央市民センター 2月11日、18日、25日、3月3日、10日(毎週土曜日)

富沢市民センター 2月16日、23日、3月1日、8日(毎週木曜日)

022-217-7234 仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

女性のための就労応援 OFFICE2010 講座

ワード、エクセル、パワーポイントのオフィス2010の新機能を中心に、ビジネスでよく使われる操作方法やコールセンターの仕事、ビジネスマナーを学びます。講師は女性です。

対象 「震災で解雇された」、「一時避難のため退職した」、あるいはシングルマザーなどの理由で、経済的に困難な状況にあり、就労を目指している女性

3月7日(水)~9日(金)の3日間連続講座、いずれも10:00~15:30

仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 研修室 AER(アエル) 28階

定員 12人

参加費 無料(託児 6カ月以上小1まで、無料)

申込方法 指定用紙に必要事項を記入し、下記まで郵送してください。用紙はホームページ(<http://www.sendai-l.jp>)からダウンロードするか、エル・ソーラにお電話で直接ご請求ください。後日、郵送させていただきます。

〒980-6128 仙台市青葉区中央1-3-1アエル28階 エル・ソーラ仙台 パソコン講座担当あて

定員 2月20日(月)必着。応募多数の場合は抽選。結果は申込者全員に郵送でお知らせします。

022-268-8044 エル・ソーラ仙台管理事業係

ささえあいの会

東日本大震災で大切な人を亡くされた皆さまが、ともに想いを語り合うことで、分かち合い、支えあう場です。

対象 どなたでも参加できます。予約不要

2月12日(日) 13:00~15:00

仙台市福祉プラザ10階(仙台市青葉区五橋2-12-2)

022-718-4401 社会福祉法人 仙台的のちの電話

ブックワゴン

あすと長町仮設住宅へ、移動図書館が訪問します。

対象 お近くにお住まいの方など誰でも利用できます

2月11日、18日、3月3日、10日(いずれも土曜日) 11:00~15:00

当日の運行状況、巡回ルートに関するお問い合わせは、080-1301-6664 ブックワゴン仙台事務局(月・火・水・金・土9:00~18:00)。プロジェクトや広報の問い合わせは03-5840-2707 ブックワゴン東京事務局

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所) ※下記以外にもさまざまな催しがあります。

日時	イベント	対象	問い合わせ
2月14日(火) 13:30~15:00 2月28日(火) 13:30~15:00	心の悩みを聴くおしゃべりの会とお茶の時間	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481 (森山/火・木・土曜日9:00~17:00)
2月19日(日)	10:30~11:30	仮設住宅入居者	長町まざらいん 022-247-4369(布久満・谷)
	11:30~12:00		
2月21日(火) 13:00~16:00	遊びリレーション 皆で生き生きレクリエーション	仮設住宅入居者	仙台市太白区レクリエーション協会 080-6041-4154(村田)
2月23日(木) 10:30~12:00	お楽しみ企画&ふれあい喫茶	仮設住宅入居者、 近隣の方	みやぎ生協仙台ボランティアセンター 022-218-5331

快適生活

暖かい季節を待ちわびるこの頃。立春を迎えたとはいえ、東北の寒さはもう少し続きそうです。さて、今回は気になる暖房費を抑えつつ、手軽に暖をとれるアイデアをご紹介します。

仕事机、学習机の足元を暖めよう

このページのイラストを描いている東北工業大学の南さんが、勉強中に実践しているエコ暖アイデアを教えてくださいました。

この時期、机に向かうと特に冷えが気になるのが足元。そんな時は発泡スチロールを机の下に置いてみましょう。発泡スチロールは熱が逃げにくいので、意外にも驚くほどの暖かさを感じることができます。長時間の台所仕事などでもお試しください。



発泡スチロール箱のふたの部分なら、切ったりせずに置くだけでそのまま利用できて便利！



東北工業大学 南大地さん

イラスト／米森美香子、南大地（東北工業大学）

エコ暖の基本は3つの「首」

効率よく体を温めるために押さえておきたいポイントが、「首、手首、足首」の3つの「首」。それぞれ皮膚が薄く、外の気温に影響されやすい部分。ここをしっかりと防寒することで温まった血流がスムーズに流れ、効率よく全身を温めることができます。

マフラーや手袋、厚手の靴下などでしっかり防寒しましょう。また、即効性のある裏技として首の後ろにドライヤーの温風を当てるといった方法も！ 肌から少し離して、やけどに注意してお試しください。

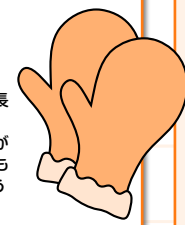


首もと

マフラーやストールで外気に触れないようにしっかりとカバーして

手くび

手首まで隠れる長めの手袋が便利。コート類も袖口がしっかり閉まるものを選びましょう



足くび

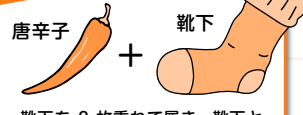
厚手の靴下が窮屈な方には、ひざ下から足首まで覆えるレッグウォーマーがおすすめ



視覚で体感温度アップ

赤や黄色、オレンジなどの暖かいイメージの色には、体感温度を上げる効果があるとされています。下着や衣類に用いるのももちろんのこと、インテリアにも取り入れてみませんか？ カーテン、座布団やクッションのカバーなど、身近なものを暖色系に替えてみましょう。

裏技でさらにポカポカ！



靴下を2枚重ねて履き、靴下と靴下の間に唐辛子（鷹の爪）を入れるだけ。ポカポカ効果が倍増します。※刺激が強いときはすぐに使用を中止してください

震災困りごと Q&A ～紙上弁護士相談～

Q 震災後、自宅に突然販売業者が訪ねてきて、「布団の無料点検をしています」と言われ、無料なので点検してもらったところ、「お宅の布団はダニがたくさんおり、体に悪い」と説明され、不安になったため布団を購入してしまいました。あとで家族に相談したところ必要ないと言われました。解約できないでしょうか。

A 今回の震災後、こうした訪問販売に関するトラブルの増加が予想されます。

訪問販売業者の中には、販売目的を隠して訪問したり、健康状態が悪化するなどと言って不安を煽り、契約を迫ったり、品物について、きちんと説明をしないまま契約させたりする悪質な業者もいるようです。

このように、自宅を訪問して契約を結ぶ訪問販売の場合には、契約書などの書面を受け取った日から8日以内であれば、たとえ品物を使い始めていたとしても、クーリングオフによる契約の解除をすることができます。また、契約書等の書面を受け取ってから8日を過ぎてしまった場合でも、このような書面に代金額やクーリングオフに関する記載がないときには、クーリングオフによる契約の解除をすることができます。さらに、勧誘の際に目的物に関して事実でないことを業者から説明されていた場合

にも、契約を取り消すことができる可能性があります。

訪問販売の勧誘を受けた場合に大切なことは、まず、「すぐにその場で契約しない」ことです。家族や友人に相談するなどし、必要な契約かどうかを十分に考えて下さい。別の業者にも見積りをしてもらうのも良い方法です。次に、「契約内容や金額を十分に確認すること」です。よく分からない点は、業者に説明を求めることが必要です。そして、「必要のない契約の場合には、はっきりと断ること」です。

訪問販売等の契約で何かトラブルがあったときは、1人だけでは悩まずに、弁護士会等で行っている法律相談やお近くの消費生活相談窓口でお気軽にご相談いただければと思います。

平日無料法律相談の連絡先

仙台弁護士会法律相談センター

仙台市青葉区一番町2-9-18
TEL：022-223-2383(予約不要。月・木は夜間相談あり)

「みらいん」紙上で弁護士の先生に相談したい方、ぜひ困りごとの内容について教えてください（8ページ参照）

今回の先生は・・・

プロフィール **大泉力也** 弁護士

仙台弁護士会所属（荒・大橋法律事務所）
福島大学卒
仙台弁護士会消費者問題対策特別委員会委員等



「死活覚悟」

牧場を経営してある再従兄弟に教へてもらったのですが、そこでは人工授精でなく、牛達の自然な生殖に任せてあるとのこと。「その場合、牛の社会では好きなタイプの相手をお互ひ意識してから同意の上で相手を決めるの？」と訊いたら「牝牛が妊娠可能な状態になったのを察知すると、牝牛は積極的に求愛を始めるのサ」だって。その結果元気な仔牛が生まれるとのこと。

この世に赤ん坊が一人誕生するといふことは、父方母方の血筋を併せ持つて生まれてくるくらゐまでは考へますが、仏教ではもともと深く、人間業（人類の歴史上で起こった全ての出来事と行為）全部を一人ひとりが背負って生まれてくるのだよと教へて下さいます。さういふトデモナイ命を戴いて生まれてきたからには「死ぬ覚悟があるなら何だってできる」よりも「どんな状況の中でも生きてみせる」の方が素敵だ！！

佐藤和丸

佐藤和丸（さとう かずまる）

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

次号は濱田直嗣さん（宮城県慶長使節船ミュージアム館長）にご登場いただきます。

解説 生活不活発病とは

動かないことが原因で全身の機能が低下して「動けなくなる」ことを言い、体や頭の働き、心の状態も弱ってきます。歩くことが難しくなったり、疲れやすくなったりして動きにくくなり、次第に生活不活発病は進んでいきます。特に、高齢の方や持病のある方は悪循環に陥りやすいので気をつけましょう。早めの相談と対応を心がけることが重要です。

予防法 予防のポイント

使わない身体機能は衰えていくものですが、その範囲も衰え方も思った以上に大きいものです。毎日の生活の中で積極的に動くようにしましょう。軽い体操や散歩などを習慣づけるのも有効です。
「一年だから」「持病があるから」自分は安静にしなくてはいけません、かかりつけ医などどの程度体を動かしてよいか相談して判断すると良いでしょう。
地域や家庭での役割を持つたり、楽しみを見つけて生きがいのある生活を送ることが、自然と体を動かすことにつながります。家族や周囲の方もぜひ応援してください。家に閉じこもらずに、暖かい格好をして外に出て、楽しみながら体を動かしてみしましょう。

情報提供：仙台市健康増進課

いにしへの文化を伝える

世界的にも貴重な施設

太白区は遺跡の宝庫です。数多くの遺跡スポットがある中、一九八八年に発掘された「富沢遺跡」をそのままの状態で開催・展示するために建てられたのが「地底の森ミュージアム」です。約二万年前の旧石器人による生活跡や活動していた森林跡など、当時の人類と自然の関係そのままの状態を保存。百点以上の石器と共に展示しています。また館内では、石器を使って紙を切る体験コーナー(日・祝日のみ)や、遺跡に関する企画展も行っています。

そのほか近くには、「伊古田遺跡」や「王ノ壇遺跡」、「六反田遺跡」などといった貴重な遺跡が集中。身近な場所で歴史の息づかいを感じることが出来ます。



▲遺跡の魅力がたっぷり詰まったテーマミュージアム

所在地: 太白区長町南4-3-1
TEL: 022-246-9153
開館: 9:00~16:45 (入館は16:15まで)
休館日: 月曜日、休日の翌日、第4木曜日
入館料: 大人 400円
高校生 200円
小・中学生 100円
アクセス: 地下鉄長町南駅から徒歩5分

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1		2		3		4
				D		
		5				
6	7			8	9	
10				11		12
E				A		
		13				14
15				16	17	
					B	
		18				
						C

タテのカギ

- 露店などで見られる、甘くてあったかい飲み物。米どころだからこそ美味しい
- 今年は何年なので、2月は29日まで
- カートをゴシゴシ、きれいに。お風呂で使う道具
- 言わずと知れた、仙台の初代藩主にして名武将、〇〇政宗
- 活版印刷の凸版に対して、紙幣など繊細な刷りに適した印刷版
- 福の神で有名な仙台〇〇〇は、江戸から明治にかけて実在した人物。彼が寄った店は必ず繁盛したと伝えられます
- 居酒屋などで、注文をしなくても出てくる最初のおつまみ
- 隣接する内沼とともに、国内最大級の渡り鳥の越冬地。栗原市と登米市にまたがります
- 鍋に入れたり、おひたしにしたり。春の七草のひとつです
- 力士が嫌う星の色

ヨコのカギ

- 鳴子温泉、飯坂温泉とともに奥州三名湯のひとつ、仙台の〇〇〇温泉
- 国の重要文化財にして、宮城県最古の木造建築物である高蔵寺阿弥陀堂があるのは〇〇〇市
- スポーツでも車の運転でも、これを守らず違反はいけません
- 冬場も観光客で賑わう〇〇〇連峰は、宮城県と山形県とにまたがります
- ハサミに勝って、紙に負けます
- 非常に珍しく、めったにないこと
- 肌を白く見せる化粧品。「白粉」と書いて
- 小麦粉に水を加えて練り、熟成させた生地を指でちぎって野菜などと煮込んだり。郷土の味、〇〇〇汁
- グルグルと巻き込むような水の流れ
- 1円=100〇〇
- 松尾芭蕉は『〇〇の細道』を残すにあたり、宮城県では仙台、松島、石巻、鳴子などを巡り歩きました
- 牡鹿半島の先端近く、網地島に隣接して浮かび、ネコの島との異名も

前回のこたえ

A ド B ン C ト D サ E イ

でした。

1	2	3	4
ネ	ナ	シ	ン
5	6	7	8
ギ	ン	サ	バ
9	10	11	12
ポ	ー	イ	ア
13	14	15	16
ク	ト	ウ	ザ
17	18	19	20
ネ	ド	ウ	ラ
21	22	23	24
モ	ン	ク	ト
25	26	27	28
ト	ハ	ラ	コ

編集後記

あすと長町仮設住宅に雪が降り積もった朝、PSCスタッフが雪かきをする姿を見かけました。見えないところで皆さんを支えているんだなど、あらためて実感した出来事でした。(さいとう)

新しく太白区担当になりました。まだまだ若輩者ですが、若さを武器に頑張っていきます。石巻出身で仙台のことは分からないことが多いですが、これからよろしく願いいたします!(熱海)

情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている思いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

「みらいん」編集部

FAX: 022-390-5756 e-mail: kawara@mmmm.or.jp